

## 来月10月はピンクリボン月間です



ピンクリボンとは、乳がん啓発活動を表す世界共通のシンボルマークです。「乳がんで悲しむ人を一人でも減らしたい」との思いから1980年代にアメリカで活動が始まり、2000年頃から日本でも盛んになってきました。「乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さ」を伝え、乳がんの正しい知識を広め検診受診への一歩を踏み出してもらうため、10月はピンクリボン月間となっています。乳がん検診には問診・視触診やマンモグラフィ、超音波（エコー）があります。

### マンモグラフィを用いた乳がん検査について

#### マンモグラフィのメリット

- 視触診だけでは発見できないしこりや、石灰化のある小さな乳がんを発見できます。
- マンモ単独、もしくは視触診との組み合わせで、死亡率減少効果を示すことが証明されています。
- 乳がん以外に、乳房の良性疾患なども発見できます。

#### マンモグラフィのデメリット

- X線による放射線の被ばくがあります。
- 乳房を平たくしてはさむので痛みを伴うことがあります。
- 乳腺密度の高い人や若い人の場合はわかりにくいことがあります。

#### 当院で使用しているマンモグラフィ



- ◆ 当院では、常に放射線のリスク(被ばく)を管理し、高品質な画像の提供を行っています。

(マンモグラフィ施設認定取得)

- ◆ 検査は撮影技術認定を取得した女性技師が担当します。
- ◆ 読影は読影認定を取得した医師が行っています。

これからも当院は、質の高いマンモグラフィ精密検査、乳がん診療の提供に取り組んでいきます。

当院は紹介予約制の医療機関のため、まずはかかりつけ医にご相談ください。

来月10月号では、自己検診の方法等を取り上げます。

♪ お問い合わせ先 放射線科 ♪

♪ 多摩南ミニ通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪



# 今月の医療 耳鼻咽喉科

きゅうせい かんおんせい なんちょう

とつぱつせい なんちょう

## 急性感音性難聴・突発性難聴とは

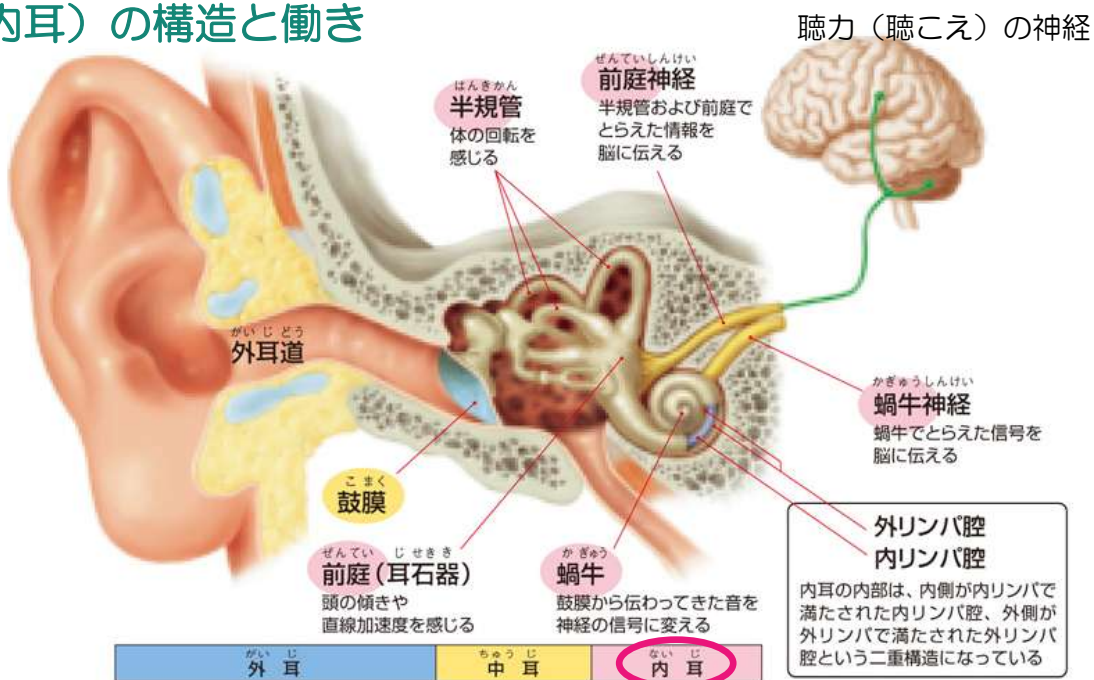
急に難聴・耳鳴・耳閉感（つまった感じ）・聴覚過敏（音が割れる感じ）を自覚し、ときに回転性のめまいなどが起こる病気です。



### 原因

耳の奥にある内耳（下記の赤く塗られている場所）といわれる所の障害です。正確な原因は残念ながら今の医学で完全には解明されていません。血行障害、内耳の浮腫（むくみ）、ストレスなど様々な因子が合わさって発症すると考えられています。

### 耳（内耳）の構造と働き



### 検査

定期的な聴力検査を行います。その他レントゲン写真、血液検査なども行います。症状によってはMRIなどで頭（脳）の検査が必要になることもあります。



### 治療

発症早期にステロイドの内服薬や人によっては点滴が必要なこともあります。難聴の程度が重い方やめまいを伴う場合は入院が必要です。



### 予後

早いうちに十分な治療をしないと治りにくいことが分っています。できれば1週間以内、遅くとも2週間以内に治療をしないと十分な効果がありません。2週間以上経過してしまった場合は、効果がみられない場合がほとんどです。どの程度改善するかを予想する方法はなく、きちんと治療を受けることが大切です。

耳鼻咽喉科 佐々木 大輔

☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずは、かかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。